

- ・福祉専門家の素質とは(杉浦良)
- ・お知らせ(鮎喰川クリーンアップ)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

209号/2025.6

Since 1984

「福祉専門家の素質とは」

杉浦 良

この前、テレビで「パッチ・アダムス」という映画を見ました。1998年(米)トム・シャドヤック監督、主演はロビン・ウィリアムズです。たまたま暇つぶしに見る機会があったのですが、妙に引き込まれるシーンもあり、気が付けば最後まで見ることになりました。

自殺未遂で精神科病院に任意入院した主人公が、笑いが人を癒すことに気づき、すぐに退院し、若者たちに交じって医科大学に入学します。権威的な学部長にいらまれて苦労しますが、成績は優秀、仲間を増やしながら無料のケアハウスを学生時代に始めます。ただ最愛の女性を失い、失意の中、自殺を試みますが何とか留まり、学業に戻ります。その後、学部長から退学処分を突き付けられますが、最後は切り抜け、ハッピーエンドに終わるというストーリーです。



昼食の味噌汁作りを担当するメンバーさんもAさんからBさんにバトンタッチしました

実在の人物を題材にした映画とのことですが、私は映画の出来た背景や監督そして主演男優も全く知りません。この映画の中で主人公は、精神科病院で患者さん達とあれこれ関わるうち、自分の自殺願望に結び付く絶望の想念から、距離が取れることに気が付きます。

そして附属病院に出入りすることにエネルギーを注ぎます。若者達は覚えなくてはならない山ほどの課題に、あくせくして余裕がありませんが、彼は勉強しないのに成績はいつもトップクラス。このあたりは少々現実離れしたところもありますが「何故あなたは医者になりたいと思ったか？」という問いに、たじたじの若者に対して、彼の言葉がリアリティーを持ちます。「患者さんのことを考えていると、自殺したいと思う気持ちが忘れられる」そんな言葉に集約され、よくある模範解答とは随分違ったものになります。患者さんもそんな心内を敏感に感じ取り、心を開き始めます。

「精神科病院の入院患者さんに、私は救われた？！」彼はそんな気持ちを抱いて、医者の道を進むことになりました。そして病気は直せなくとも、患者さんの気持ちを前向きにさせることが医療として大切だ、と人間と医療の関係を問うていくことになります。

随分昔、「精神科治療の覚書」(中井久夫著・日本評論社・1982年)を読んだことがあります。

「だれも病人でありうる、たまたま何かの恵みによっていまは病気でないのだ」「医者が治せる患者は少ない。しかし看護できない患者はいない。息を引き取るまで、看護だけ是可以ののだ」といった言葉を紡ぎ出す感受性の高さと共に感の素地を、著名な精神科医である中井久夫氏は持ち得ていたのだろう、そう感じたことを思い出しました。

障害者福祉の専門性という言葉が取り上げられるようになりました。福祉制度やサービス内容を熟知し、福祉専門用語を使えることが専門家と呼ばれる根拠となりがちですが、私はむしろ

「障害者と呼ばれる人たちに、救われたことがある？！」

「ハンディを抱えたメンバー達と関わることで、自分の気持ちが丸くなったり自分の心が穏やかになったことがある？！」

「障害者支援をしているうちに、ある時、自分も実は支えられていることに気が付いたことがある？！」

「自分は福祉の世話になることなどない、そう思っていたが、ある時そうでもないかもしれないと感じたことがある？！」

「努力して、しっかりやってさえすればやっていける、そうでないから福祉の世話になる、そう思ってきたが、そうばかりでもないなと感じたことがある？！」

実はそんなことを感じたり思ったりしたことがある人こそ「福祉の専門家」としての素質がある方では？と「パッチ・アダムス」を見て、感じました。ただ、そうは言っても素質だけではあきませんが・・・

お知らせ

鮎喰川 クリーンアップ

4月20日、当会事務局がある徳島市国府町南岩延で、今年初めてのクリーンアップ草刈りを行いました。

鮎喰川西岸の道路を挟んで両側の土手を、刈払機にナイロンカッターを取り付けての作業。今回両手ハンドルをループハンドルに取り替えました。

傾斜地はやはりループハンドルがやりやすいと実感。

佐藤さん来所

モヨ・チルドレン・センター(ケニア)の佐藤南帆さんが2年ぶりに当会に来られました。活動報告を行うため来日して全国を行脚中の佐藤さん、徳島県神山町での活動報告会の前

に立ち寄って下さいました。3年前の2月15日に亡くなられた松下照美さん(徳島県出身)の後を引き継いで、同センターの活動を行っている佐藤さん。一昨年の4月には当会にも来られ、活動についてのお話をして下さいました。

頂きました

阿波踊りの名手がプリントされたTシャツをたくさん頂きました。らくがき屋の樫谷代表といえば、Tシャツのプリントから暖簾のデザインまで幅広く手掛ける工房をされています。当会メンバーYさんからオリジナルTシャツを作ってくれと、しつこくせがまれ無償労働を余儀なくされた有難い方です。今時珍しい苦労人で人情豊かなレアものです。以前当会のTシャツを無償で作って下さいました。

今回もみんなに配らせて頂きました。有難うございました。

フードバンクとくしまさんから、カロリーメイトと食パンを頂きました。食パンは早速その日のうちに、メンバーさんに配らせて頂きました。カロリーメイトはGW休み中の補助食料として、メンバーさんに渡しました。有難うございました。



刈払い機による草刈り(当会代表杉浦)

月の宮通信より

「リユース自転車の値段はどんな基準でつけてるの？」そんな質問を時々受けます。

「実はこれが難問で・・・新品の自転車価格はしっかり考慮し、程度の状態、整備内容、新品パーツの価格などを総合的に勘案し・・・でも昭和レトロなどは別途考え・・・」と、どこかの答弁みたいになっています。

新品サドルや新品タイヤチューブの交換修理などは、部品の価格と整備料を足せば分かりやすいですが、タイヤチューブを新品に交換しても、それをリユース自転車価格に上乗せすれば「高いわ！」と言って、なかなか買って頂けません。

「まだ新しそうな自転車には新品パーツを付けてもいいけど、外観が古いものにはパーツ取りした中古パーツを付けるように・・・」とメンバーTさんに言いますが、なかなか言う事を聞いてくれません。中古パーツより新品パーツを取り付ける方が実は楽なんです。

新品に大人子供の値段差は余りありませんが、当会のポリシーとして子供自転車を安くしています。回収させていただく子供自転車に補助輪付はほとんどありませんので、別途合うものを取り付けるといったことも必要となりますが・・・でも子供は社会の宝でしょう。

自転車バザーが近づくと、今までよりリユース作業に重点がかかります。自転車パーツ交換名人、メンバーのTさんも頑張ってくれています。この婦人車は破れたカゴを中古パーツに取り替え、虫ゴ

ムは新品に交換、空気を入れてストックヤードに置かれていました。

「Tさん！悪いけどこの黄色のママチャリは解体パーツ取り。チェーンは伸びて交換し、クランクもハンガーシャフトとハンガーリテナー（ベアリング）の交換・グリスアップが必要だし、前輪ハブベアリングもあかん。ここで販売する値段以上の修理代がかかる・・・しっかり乗られたご苦労さんの自転車だわ・・・」

「タイヤもいけてたし・・・何度もタイヤを交換したんやな・・・わかった・・・」

Tさんの納得できた返事が返ってきました。

Facebook より

外国人のお客様がリユース自転車を探しておられました。

徳島でも海外から働きに来られる外国人の方(特にアジア系の皆様)が増えたこともあってか、リユース自転車をお買い求めになる外国人のお客様が増えています。

買い物や通勤などの移動手段として自転車は必需品です(日本に長くお住まいの外国人の方であれば、車を利用されている方もいらっしゃるかもしれませんが・・・)。

交通網や商業施設、公的施設が充実している大都市であれば、自転車などなくてもさほど不便を感じないかもしれませんが。しかし地方都市に住んでみると、車かバイク、最低でも自転車はないと厳しいです。車やバイクであれば15分で到着する職場が交通機関プラス徒歩だと1時間半～2時間もかかってしまう、ということが珍しくありません(JRやバスが朝の通勤の時間でも1時間に2本しかなかったりするからです)。

太陽と緑の会からの助成報告(第62回)

太陽と緑の会福祉事業団からの助成

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金(古紙、鉄屑、空き缶1キロに対し3円、廃食油1キロに対して20円)令和5年度後期分(令和6年度前期配分)6万6400円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これに前期繰越分100円を合わせた6万6500円を、各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

① 社会福祉活動への助成

徳島いのちの希望(社会福祉法人徳島県自殺予防協会)(電話による相談活動)1万円
大阪釜ヶ崎希望の家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動)3000円
徳島市社会福祉協議会5000円
社会福祉法人白川学園(明治42年創設。障害児入所施設・障害者支援施設の運営)
3200円(米450kg支援の精米代として)

② 国際協力活動への助成

ペシャワール会(アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画)1万円
モヨチルドレンセンターを支える会(ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動)
1万1894円

③ 環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会(川を守り、水を活かしたまちづくり)3000円

④ その他の活動への助成

ハートフルゆめ基金(ハートフル社会貢献基金)1万円
NPO法人日本NPOセンター(NPOの社会的基盤の強化を図る活動)1万円

支援金振込手数料406円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、31年間で累計1646万2656円の助成を行ってきました



NPO法人太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗建物

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 31 日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

佐川、中井、木下、板東、三原、秋山、米田

(郵便振替口座)武田、榎本、北岡、足立、秋山、瀧倉、本田、阪野、三木、太田、堺、伊地知、太田、豊崎、亀倉、辻、杉本、佐藤、内原

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○福永、石川、武市、杉浦、西野、小倉、中川、戸田、高橋、上田、滝本、渡辺、大上、小藪、福永、結城、月岡、大野、岩崎、尾崎、西田、小山、向井、大竹、川崎、小濱、河野、山根、赤堀、上原、前田、村瀬、近藤、廣島、アマノ、平、山本、六田、五十嵐、木村、藤岡、原田、栄村、東條、小笠、フジモト、小川、山口、平本、鈴木、木ノ桐、工内、河村、角田、坂野、知野、岸本、中野、清水、後藤、矢野、村上、西、立花、岡本、緒方、柏木、櫻木、八木、原、木下、古川、横山、上倉、ウメモト、田中、西川、榎本、八十川、生野、多田、浅井、市瀬、いえみせ、足田、日下、高原、佐藤、林、牧野、南、北井、舛木、山松、太田、三宅、小森、川端、長谷川、島田、山下、澤田、坂東、大石、福田、岡本、近藤、岡田、荒木、いえみせ、黒田、森、中平、榎尾、滝下、粒山、松島、角野、久米、和泉、宮崎、川人、中本、笹原、カワノ、井内○板野町○橋本○吉野川市○岸田、河野、石田、中沢、山本○鳴門市○山本、正木、増原○藍住町○川本、増田、山本、入山、豊田、藤原○松茂町○丸中、岩本○石井町○三木、たづら、山西、清水、川田、大石、島田、筒井、久米、福生、脇屋、岸上○上板町○仲村○小松島市○寒川、平野○牟岐町○古藤○勝浦町○岩井○阿南市○原、七原、志賀、上野○阿波市○後藤○北島町○工藤、井上、長田、今市○美馬市○後藤、祖父江○千葉県○池田○広島県○平本○群馬県○山本○兵庫県○小林○その他○高橋

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○山西、富永、井上、高島、福島、松田、大槲齒科、イトウ、田中、宇治製薬、カワノ、佐川、中村、伊藤、渡辺、明石、鎌田印刷、大木、野住、ステップ21松井、中井、齋藤、宮越、村永、松山、浜田、加藤、和泉、日出、大垣、橋本、谷、三原、三木、上原、小林、梅寿、永正、多川、正城、法村、土肥、林、穴吹ハウジング、山口化粧品店、穴吹コミュニティ、笠井、中田、坂井、郡、新居、川崎、矢三、畠山、宮本、藤田、中、山上、近藤、工藤、長野、大槲内科、出口、松波、齋藤、岩本、宇都宮、吉村、齋藤、木内、宮越、表、中野、黒田、横山、初崎、松村、近藤内科、合田、岡、河野、米田、宇川、山西、楠木、多田、中川、新見、矢野、広常、一山、石原、古谷、小谷、若田、秋山、谷、岡田、西河、原田、西岡、松本、森、北村、宇治製薬、三角、大嶺、伊藤、中村、大北、玉谷、武田、横田、丸岡、山本、松浦、高木、長谷川、絹川、濱、渡部、織田○石井町○奈良、臼杵、友竹、コウノ○鳴門市○久龍、大浦、元木、齋藤、村、大和、米田、林、太田○小松島市○佐川、小川、サガワ、久国、木下、矢根、酒井、大室、姫田○藍住町○天羽、野本、安芸、矢部、吉田○吉野川市○田村、阿部○上板町○川田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。旬のお野菜や柑橘類の果物、自家製のお漬物を持って来て下さった皆様、お飲み物やお菓子を下さった皆様も有難うございました。お野菜は作業所の食材として大切に使用させて頂いております。諸物価が高騰している中、本当に有難いです。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。

夏期休業・定休日

8 月 August

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9 月 September

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

夏期休業

8/3(日)～
8/16(土)

※白抜き数字の日が
お休みの日です

「働き方改革」という
時代の要請により、
当会も以前よりお休
みの日を多くさせて
頂いております。

当会をご利用頂く
皆様にはご不便をお
かけすることになる
かと思いますが、宜し
くお願い致します。

10 月 October

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11 月 November

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

編集後記～回収秘話

お品物お引き取りのご依頼が、ホームペ
ージ上でできるようになって 12 年。当会の
活動時間外でもお申し込みが可能のため、
ホームページを通じて引き取りのご依頼を
される方が年々増えてきました。平均すると
毎月 15 件前後はホームページ経由です。

ホームページでお申し込みを頂くと、後日
たった一人の「お引き取り担当職員」のMか
ら、「ご自宅にお伺いさせて頂く日時」をご
連絡させて頂くことになります。

ただお電話をしても、なかなかお客様と繋
がらないこともあります(通常は夕方行きます)。
最近は携帯電話を利用する方が多くなり、
「知らない番号から電話がかかってきても出
ません」という方もおられたり、マナーモード

にしている気が付かなかったり、お仕事や
何かのご用事で出られなかったり、などと
いうこともあるようです。

「まだ日時の連絡が来んのやけど…」

しばらくご連絡がつかないと、今度はお
客様の方から、催促のお電話が入ります。

ただ担当職員のMは日中、トラックで外に
出ていて不在のことが多いです。

「日時について分かる者は(外に出ていて)
おりません。私では分かりません。」

電話番メンバーNさんがそうお伝えすると
「担当者の携帯番号を教えてください？
直接電話するけん」

とお願いされることもありますが、トラック
の運転中にお電話に出ることはできません
ので、それも難しいです。

不用品のお引き取りは、毎日、トラック1台（担当職員MとハンディをもったメンバーのTさんのコンビ）で徳島市及び近隣市町村を回らせて頂いています。

実際にご自宅へお伺いしてみると、お品物の種類や量がお電話でお聞きしていたのとは違うということが、時々あります。

例えば「衣類、食器」とお聞きして、実際にお伺いしてみたら、「こんなもいけるん?」と2階の部屋に案内されて、本棚に入ったままの書籍多数、押入の中には電化製品、寝具、ぬいぐるみ、カバン…。

担当職員MとメンバーのTさんの2人で一軒家の2階から狭い階段を使って荷物を運ぶとなると、けっこう時間もかかります。

「物置に自転車も2台くらいあるんやけど」「まだこの後、2軒お伺いする所があるので、次回に頂いて帰るということによろしいですか」

「せっかく来たんやから、(トラックに)積めるだけ積んで帰ってよ…」

心苦しいところですが、ここで全部積んでしまうと、次の2軒目の家で同じことが起きたら、3軒目のお宅にお伺いした時「積みません」となって「事前に品物をちゃんと言うてあったのに」とお怒りをかってしまいます。

お忙しい方が多いようで、日時指定をご希望される方も大変多いです。

一軒のご依頼先でどのくらい時間がかかるか、正確に予測することは難しいため、ざっくりしたスケジュールをお伝えすることになるのですが…。

「5月30日の午後1時から3時の間にお伺いします」

「そんなに長い時間、家で待っとれんわ。だいたい何時になるか分かんのか」とお叱りを受けることもあります。

「午後1時から3時の間にお伺いします」とお伝えしていても、いざ当日になって、午後2時になってもまだ来ないとなると、事務局の方に「まだ来んのやけど、何時くらいになるん」と電話が入り、「私は担当者ではないので分かりません」「こっちは1時からずっと待ってるんや。担当者に今すぐ連絡を取れ」と最後は怒鳴られてしまいます。

逆にお約束の時間にお伺いしたらご不在で、数時間後に「ちょっと急用で出かけとったんや。今帰ってきたから、今から来てくれんか」と事務局にお電話が入ることも…。

いろいろ行き届かない面もあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会